

平成21年度

北陸地区国立大学連合協議会

北陸4大学連携 まちなかセミナー

入場無料

北陸発、知的探求の旅。
北陸3県にて実施。

大学とは何をすることでしょか？
教育、研究、それだけではありません。地域の皆さんの多様な生涯学習ニーズに応えることも大学の大事な使命です。富山大学、金沢大学、福井大学、北陸先端科学技術大学院大学共催で、「知」との出会いの場を提供することになりました。

「北陸発のふ・る・さ・と探訪」

福井
会場

新エネルギー

日時 平成21年8月29日(土)
14:00~16:30

会場 福井大学アカデミーホール
(福井市文京3-9-1)

講師 川口 清司
(富山大学大学院理工学研究部 教授)
「電力の地域自給を目指した
小型風力発電の取り組み」

高橋 光信
(金沢大学理工研究域物質化学系 教授)
「低炭素社会実現に向けて
期待される電池技術」

お問合せ

福井大学地域貢献推進センター
(〒910-8507 福井市文京3-9-1)
TEL 0776-27-8060
FAX 0776-27-8878
E-mail koken@ad.u-fukui.ac.jp

富山
会場

北陸から発信! エコで便利なまちづくり

日時 平成21年9月5日(土)
14:00~16:30

会場 富山駅前CiCビル3階 学習室
(富山市新富町1-2-3)

講師 高山 純一
(金沢大学理工研究域環境デザイン学系 教授)
「環境モデル都市の都市計画マスタープラン
~富山市における「エコなまちづくり」への挑戦~」

川上 洋司
(福井大学大学院工学研究科 教授)
「持続可能な交通まちづくり
~北陸の現状と展望~」

お問合せ

富山大学地域連携推進機構生涯学習部門
(〒930-8555 富山市五福3190)
TEL 076-445-6956
FAX 076-445-6033
E-mail lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

金沢
会場

北陸の文学への誘い

日時 平成21年9月12日(土)
14:00~16:30

会場 金沢大学サテライト・プラザ
(金沢市西町3-16 金沢市西町教育研修館内)

講師 三好 修一郎
(福井大学教育地域科学部 教授)
「越前ろくろ首説話考
—笑う女の首が飛ぶ—」

金子 幸代
(富山大学人文学部 教授)
「小寺菊子生誕130年と秋声」

お問合せ

金沢大学地域連携推進センター
(〒920-1192 金沢市角間町)
TEL 076-264-5272~3
FAX 076-234-4045
E-mail kaihou@ad.kanazawa-u.ac.jp

主催/富山大学・金沢大学・福井大学・北陸先端科学技術大学院大学
後援/富山県教育委員会・石川県教育委員会・福井県教育委員会

平成21年度

北陸4大学連携 まちなかセミナー 「北陸発のふ・る・さ・と探訪」

福井会場

新エネルギー

日時 平成21年8月29日(土)
14:00~16:30

会場 福井大学アカデミーホール
(福井市文京3-9-1)

講演 1 電力の地域自給を目指した
小型風力発電の取り組み

講師 川口 清司 (かわぐち きよし)
(福井大学大学院理工学研究部 教授)

要旨

近年、エネルギーを有効に活用するために、需要地内で複数の分散型電源や電力貯蔵システムを組み合わせ、電力の地域自給を可能とするマイクログリッドと呼ばれる小規模の電力供給網の実証試験が行われています。その中で小型垂直軸風車は風向依存性がなく、低騒音であることから住宅地でも発電可能であり、分散型電源に適した発電方法です。本講演では風力発電の現状と課題、および小型垂直軸風車における開発の取り組み事例を紹介します。

講演 2 低炭素社会実現に向けて
期待される電池技術

講師 高橋 光信 (たかはし こうしん)
(金沢大学理工研究域物質化学系 教授)

要旨

今、日本が排出しているCO₂の90%がエネルギー起源によるものと言われています。ある研究所の試算では、2050年に世界のCO₂排出量は、エネルギー技術の進歩が全くないと仮定した場合、現在の2倍になると予想されています。革新技術の登場が待たれる所以です。本講演では、低炭素社会実現の一翼を担うと期待されている電池技術(リチウムイオン二次電池、燃料電池、太陽電池など)について、分かりやすく解説する予定です。

富山会場

北陸から発信! エコで便利なまちづくり

日時 平成21年9月5日(土)
14:00~16:30

会場 富山駅前Ciビル3階 学習室
(富山市新富町1-2-3)

講演 1 環境モデル都市の
都市計画マスタープラン

~富山市における「エコなまちづくり」への挑戦~

講師 高山 純一 (たかやま じゅんいち)
(金沢大学理工研究域環境デザイン学系 教授)

要旨

富山市は、平成14年4月の環境マネジメントシステムの運用開始や平成20年7月の「環境モデル都市」の選定を受け、「公共交通の活性化によるコンパクトなまちづくり」を進めています。今回は、平成20年3月にまとめた都市計画マスタープランの概要と公共交通を中心とした「エコなまちづくり」への具体的な取り組みを紹介します。

講演 2 持続可能な交通まちづくり
~北陸の現状と展望~

講師 川上 洋司 (かわかみ ようじ)
(福井大学大学院工学研究科 教授)

要旨

都市で営まれる諸活動と移動の相互関係を踏まえ、環境負荷の小さい持続可能な都市と交通のありようとその実現のための取り組み(交通まちづくり)の考え方、枠組みを先ず解説します。その上で、欧米諸都市の先進的取り組み事例も加えて、北陸諸都市(福井市や富山市)の取り組みの現状等を紹介し、これからの交通まちづくりを展望します。

金沢会場

北陸の文学への誘い

日時 平成21年9月12日(土)
14:00~16:30

会場 金沢大学サテライト・プラザ
(金沢市西町3-16
金沢市西町教育研修館内)

講演 1 越前ろくろ首説話考
—笑う女の首が飛ぶ—

講師 三好 修一郎 (みよし しゅういちろう)
(福井大学教育地域科学部 教授)

要旨

沢田研二の「TOKIO」ふうで紹介しますと、「空を飛ぶ 首が飛ぶ 笑う女の首が飛ぶ」という物騒な事件が越前国であったと江戸時代の本に出てくるのです。北陸道中のどこかだということです。それは一体どこなのだろう。なぜそんなことになったのだろう。どうして本に載ったのだろう。それらの謎を解き明かしたいと思っています。

講演 2 小寺菊子生誕130年と秋声

講師 金子 幸代 (かねこ さちよ)
(福井大学文学部 教授)

要旨

小寺(尾島) 菊子(富山市旅籠町生まれ 明治12・8・7~昭和31・11・26)は、少女小説、随筆、小説、評論などを雑誌や新聞に執筆し、明治・大正・昭和にわたり活躍した女性の職業作家として草分け的存在です。同郷の三島霜川(高岡市出身)の紹介により徳田秋声に師事し、小説に本格的に取り組むようになり、田村俊子、岡田八千代と並び「大正の三閨秀」と称されました。本年は、小寺菊子生誕130年にあたり、小寺菊子の文学と師の徳田秋声の「あらくれ」の映画を鑑賞しながら考察を深めていきます。